

「がん進展制御研究所セミナー」を開催

2023年9月27日

9月27日（水）、金沢大学がん進展制御研究所 4F 会議室において、国立がん研究センター研究所 分子病理分野 小林祥久先生 による、がん進展制御研究所セミナーを開催しました。

セミナーでは、小林先生が Dana-Farber Cancer 研究所での研究で発見された、肺がん細胞の KrasQ61 変異に伴う G60 のサイレント変異と、そこに潜むスプライシング異常が関与する新規メカニズムについて、とてもわかりやすくご発表頂きました。また、留学中のエピソードや、薬剤耐性を指標とした新しいがん研究の方向性などもお話し頂き、時間を忘れて楽しいセミナーとなりました。

セミナーには、研究所内外の教職員、大学院生等 32 名が参加し、活発な質疑応答や意見交換が行われました。



CRISPRゲノム編集細胞モデルの 薬剤耐性で迫る発がん機構

講演者：国立がん研究センター研究所
分子病理分野
小林 祥久 先生

日時：2023年9月27日(水) 17:00～18:00

場所：金沢大学がん進展制御研究所 4F 会議室

小林祥久先生は、肺がんのトランスレーショナル研究や、薬剤耐性、RAS発がんの研究領域で活躍されています。

EGFR遺伝子変異陽性肺がんが、チロシンキナーゼ阻害剤に耐性を獲得する興味深い機序の一つに、新たな発がんドライバー遺伝子異常の獲得があります。CRISPR細胞モデルを使って薬剤耐性に取り組むうちに、RASのスプライシングに関する発がん性の発見につながった研究 (*Nature* 2022)、および現在進行中のプロジェクトについて、講演していただきます。

皆さま、どうぞ奮ってご参加ください。